

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2003.11.1 ~ 11.30)

刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』541号(2003年12月)

図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	58	45	103
受 贈	23	23	46
合 計	81	68	149

閲覧サービス

閲覧

開館日数 23日
 閲覧人員 46名
 貸出図書 41冊

コピーサービス

学外 32件 3294枚
 学内 11件 698枚

日 誌

- 1日 労働政策研究会
 テーマ:「鉄鋼労働運動と政策形成過程への関与」
 報告者:宮田義二氏(IMF・JC顧問,元鉄鋼労連委員長)
- 4日 村上安正氏より南助松・操の書4点受贈
- 5日 労働資料協総会(於:女性と仕事の未来館,早川征一郎,若杉隆志,山田美代子出席)
- 8日 見学:法政大学司書課程学生4名
- 10日 共同研究プロジェクト第2回研究会
 ジャーナリスト・ユニオン研究会
 テーマ:「日本ジャーナリスト連盟の結成と活動」
 報告者:松田浩氏(元立命館大学教授)
- 11日 国際交流講演会
 テーマ:大学と労働組合,NPOとのコラボレーションはどのように可能か?
 - アメリカにおける現状と課題から探る
 スピーカー ケント・ウォン(Kent WONG)氏(米:カリフォルニ

ア大学ロサンゼルス校労働研究教育センター所長)

(通訳:中山いづみ 法政大学大原社会問題研究所客員研究員)

- 12日 戦後労働運動研究会
 時期区分・テーマ別などの編纂方針について
 主要時期における問題区分・テーマの概観
- 14日 労働関係シンクタンクフォーラム(五十嵐仁・鈴木玲出席)
- 17日 協調会研究会
- 18日 韓国より労働資料館設立調査団来所(金コムス労使政委員会委員長他2名)
- 19日 運営委員会
 議題 来年度研究プロジェクトの募集について
 戦後労働運動資料集について
 大原社研究叢書の刊行予定について
 来年度の運営委員の構成について
 研究員総会(2004年2月予定)について
 その他
 『日本労働年鑑』検討小委員会
- 20日 見学来所:徳永光俊氏(大阪経済大学日本経営史研究所所長(教授))
- 25日 事務会議
 見学:法政大学人文科学研究科大学院生8名(長井純市助教授)
- 26日 研究員会議
 月例研究会
 テーマ:「ジェンダー視角を用いた労働争議分析へ向けて これまでの研究の自己批判を通じて」
 報告者:中村広伸
- 27日 全国図書館大会(静岡,~28日,小川真弓出席)
- 28日 戦後社会運動史研究会
 テーマ:「山川均と民主人民連盟」
 報告者:吉田健二
- 29日 現代労使関係・労働組合研究会
 テーマ:「電機連合の組織拡大政策について」
 報告者:武石忠氏(電機連合書記次長)

大原社会問題研究所雑誌 No.544(2004年3月号)

2004年3月25日発行

定価1,000円(本体952円),年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

所長 相田利雄

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042(783)2307

投稿募集

本誌は社会・労働問題に対する論文、調査報告を募集しております。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

投稿規定

1. 投稿原稿は2部とし、ワープロ作成による未発表のものに限ります。
2. 原稿の分量は、原則として20,000字以内（図表を含む）とします。
3. 原稿には、審査に資するため、600字以内の要約を添付してください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。
5. 初めて投稿される方は、研究歴など簡単な履歴を添付してください。
6. 掲載原稿には、所定の原稿料をお支払いいたします。

【原稿送付先】

〒197-0298 東京都町田市相原4324

法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

論文執筆要領

論文を執筆される場合には、下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には、原則として原稿を返却しませんので、原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には、ある程度の行間を取って下さい。

- 1 一般的な原則
横書きとする。
タイトル、氏名の次に簡単な目次をつける。
原稿の最後に、執筆者名（ひらがな）、肩書き（所属、職名）を記入する。肩書きは大学の場合には、学部、研究所等の名称まで表記する。
注をつける場合には、各章ごとに分割せず、最後に一括し、通し番号をつける。
図、地図などは、可能な限りトレース済のものを提出する。
- 2 注記の方式
日本語の図書・論文の場合
A. 日本語で書かれた図書については、著者名、書名（書名は『 』で囲む）、出版社名、発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には、発行年の次に記入する。
B. 著者が2人の場合には、両者の姓名を書く。3人以上の場合には、「 他」の方式も可とする。
C. 論文については、執筆者名、論文名（「 」で囲む）、掲載雑誌名（『 』で囲む）、巻号、発行年月日の順に書く。
D. 注の最後は、かならず「。」で止める。
欧文の図書・論文の場合
A. 欧文の図書については、著者名、書名、発行地（あるいは出版社名）、出版年を書く。書名は、イタリックにするので、下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。
B. 論文の掲載雑誌名は、イタリックとする。
C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。
D. 注の最後は、かならず「。」で止める。

以上